

令和3年度 自己評価結果報告書

NO.1

社会福祉法人 ゆりかご福祉会

幼保連携型認定こども園 第二ゆりかごWEC学院

令和 4年 4月 1日

A：大変良い B：良い C：一部検討を要する D：改善を要する→どれか1つに○をつけて、各項目ごとに意見・改善案があれば記入して下さい。

項目	内 容	評 価				意見・改善案
		A	B	C	D	
教育・保育理念	① 理念や基本方針を具現化して職員に周知しているか	4	7	3	2	
	② 理念や基本方針を具現化して園や地域の特色を生かし、保護者に周知しているか	5	4	5	2	
	③ 理念や基本方針に基づいた教育・保育が行われているか	8	5	3		
	④ 一人一人の子どもの人格を尊重した教育・保育について職員が共通の理解をもっているか	7	7	2		
	⑤ 年間教育・保育テーマに基づいてクラス別の特色を生かしているか	6	9	1		
教育保育の計画	① 社会情勢や子どもの実態、地域性などを考慮し、必要に応じて教育・保育課程の見直しを行っているか	7	6	3		
	② 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了・卒園までの長期的な視野を持っているか五領域に基づいた活動や生活が展開できるように配慮し作成されているか	7	9			
	③ 子どもの体験が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか	9	7			
子どもの発達援助	① 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか	8	7	1		
	② 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるように留意しているか	9	7			
	③ 子どもが主体的に活動できるような人的・物的環境が整備されているか	4	10	2		
	④ 子どもの一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助を行う体制に努めているか	9	5	2		
	⑤ 健康安全や発達の促進を十分に図るため、日々の環境整備を留意する指導を行っているか	8	7	1		
	⑥ 子どもに相応し、食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか	7	8	1		
	⑦ 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか	6	7	3		
	⑧ 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、体験を積み重ねていけるよう計画を立て実施しているか	5	9	2		
	⑨ 子ども自身が自分を肯定する気持ちを育まれていこう信頼関係を築く援助に取り組んでいるか	5	9	2		
	⑩ 保護者の生活形態を反映し、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた配慮に留意しているか	6	8	2		
	⑪ 個別の支援や関わりのある子どもが安心して生活できる教育・保育環境を整備し、内容や方法に配慮しているか	7	6	3		
	⑫ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育・保育の内容や方法、保護者の相談に留意して行っているか	7	8		1	

令和3年度 自己評価結果報告書

NO.2

A：大変良い B：良い C：一部検討を要する D：改善を要する→どれか1つに○をつけて、各項目ごとに意見・改善案があれば記入して下さい。

項目	内 容	評 価				意見・改善案
		A	B	C	D	
保護者に対する支援助	① 子どもの発達や教育・保育などについて、保護者会のを設け、保護者との共通理解に努めているか	4	10	1	1	
	② 虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努め、通知、報告義務を行っているか	10	5	1		
	③ 地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか	4	10	2		
教育・保育を支える組織的基盤	① 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、衛生面や職員の健康管理に対応する専門職員の資質向上に努めているか	9	7			
	② 体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し適切な対応や体制を整備しているか	12	4			
	③ 避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応を実施できるように整備しているか	12	4			
	④ 地震などの自然災害に対する防災訓練・防災対策を行い、危機管理に努めているか	12	4			
	⑤ 施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育・保育の内容の充実と質の向上が図れるよう努め導いているか	12	4			
	⑥ 研修等、教育・保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを計画的に実施しているか	7	9			
	⑦ 事業計画が職員に周知されているか	5	11			
	⑧ 教育・保育の事業計画が利用者に周知されているか	6	9	1		
	⑨ 守秘義務の遵守が全職員に周知され、誓約書署名の下に守るよう指導しているか	9	7			
	⑩ 個人情報を適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか	9	7			
	⑪ 苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか	8	7	1		
	⑫ 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか	5	9	2		
	⑬ 保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育・保育の改善が図られるように努めているか	4	11	1		
	⑭ 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実行に努めているか	4	11		1	

施設長評価

教育・保育理念

- 教育保育課程は全職員への周知方法に改善の必要がある。（特にパート職員や新規採用職員）
- 年度初めに各クラス1年間のクラステーマを決め、保育内容に取り組むようにしている。
- 全職員での職員会議で、身体的、情緒的に配慮が必要な児について共通理解の場がある。
- 個別の対応が必要な子などの共通理解がクラス内だけでなく、職員1人ひとりがしっかり把握していくことが大切である。
- 園や地域の特徴を生かした保育は、コロナ禍でできないことが多かった。やり方や方法を考慮しできる範囲で行った。

教育・保育の計画

- 教育保育課程は、コロナ禍に応じて変更や加えた事項がある。
- 子どもたちの体験が豊かで、新しく発見できることが多いと思う。
- 新型コロナウイルス感染の影響で、自粛し過ぎたところもあつたように思う。行事を改めて見直すことができたが、一方で、豊かな体験ができる機会をつくる難しさを感じた。
- 子どもたち一人一人に合わせた保育ができるように、職員間でその都度話し合うようにした。（対応の仕方や配慮など）
- 子どもが安定感を持って過ごし、自分の気持ちを素直に表現できるように工夫した。

子どもの発達援助

- 周囲のサポートもあり、子ども一人一人に対し、しっかりと把握することができる。職員同士情報を共有しながら、より良い発達援助ができるよう心がけていきたい。
- 職員会議の回数が減り、情報共有がうまくいかないことがある。
- 乳児クラスでは、体調面安全面を第一に考え保育を行った。体調の良い子も、悪い子に合わせた活動になることが多かったので、反省点である。
- 黙食、対面での食事が出来なくなり、楽しむことは現状出来ていない。
- 玩具がいつも決まったものを使っていたので、手作りのものや変化にとんだものを工夫したい。

保護者に対する支援

- 子どもの成長を保護者と共有できるよう、送迎時等に1日の様子を伝えていく。
- コロナ禍で交流の場を作ることは難しいが、コミュニケーションはしっかり取れるようにしていきたい。
- 保護者会が開けないときは、書面での意見、要望を聞くようにした。
- 保護者の表情を普段から意識するようにし、相談があったときには、親身に話を聞くように心がけた。

教育・保育を支える組織的基盤

- 感染症対策は全職員に周知され、協力しあって対策が取れていると思う。
- いろいろなやり方で利用者へ通知に努めているがなかなか伝わらない家庭もあり難しい。
- 今は研修もなかなか難しい時期ではあるが、積極的に参加し学びを深めたいです。
- 研修で受講したことを全体で周知していきたいが、報告の場が取れていない。
- オンデマンドやリモート研修に積極的に参加した。
- 避難訓練は色々な場面、状況を想定して行っていきたい。
- 防災への意識が個々で違うところがあるので、細かな場面での対応を、日頃から意識して話し合っていきたい。
- 自己評価に取り組んでいるがなかなか次年度に達成できないこともあるため反省点である。

施設長評価

令和3年度は、新型コロナウイルス感染対策を前提とした行事や活動となり、直前に中止・延期も多くあった中、保護者からは理解を得られ、協力して頂いた。

新型コロナ感染対応の中での保育活動、保健衛生面の対応は、職員の教育保育計画を策定する上で大変負担も大きく、子どもが主体的に活動できるような環境整備や活動に展開することが、困難であった。